

2018年6月8日

各 位

株式会社電通国際情報サービス
株式会社アイティアイディコンサルティング

ISiD、独フラウンホーファー研究機構と MBSE 事業で合併会社設立

～構想設計支援システム「iQUAVIS」をインダストリー4.0の中核地域から欧州へ展開～



株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:釜井 節生、以下 ISiD)および子会社である株式会社アイティアイディコンサルティング(本社:東京都港区、代表取締役社長:吉本 敦、以下 ISiD と総称して ISiD グループ)は、欧州最大の応用研究機関であるフラウンホーファー研究機構(所在地:ドイツ・ミュンヘン、以下フラウンホーファー)と、モデルベースシステムズエンジニアリング(以下 MBSE)[※]分野で事業展開を行う合併会社「Two Pillars (トゥーピラーズ) GmbH」を設立しました。

新会社は、ドイツ政府が推進するインダストリー4.0の中核地域であるオストヴェストファーレン・リッペ(OWL)に拠点を置き、同地域をはじめとする欧州の製造業を対象として、ISiD グループの構想設計支援システム「iQUAVIS(アイクアビス)」をベースとした先進的な MBSE プロセス支援機能および、フラウンホーファー傘下の研究所であるフラウンホーファーIEM が持つ MBSE メソッド「CONSENS(コンセンス)」をベースとしたコンサルティングサービスの提供を行ってまいります。

フラウンホーファーは、研究成果の事業化を促進するスピノフプログラムにより、これまで 350 を超える起業の実績を有していますが、日本企業との合併会社設立は今回が初となります。

■設立の背景とねらい■

近年、大規模化・複雑化するシステムや製品の開発効率を高め、革新的な製品やサービスを生み出すための開発手法として MBSE の導入拡大が世界的に本格化しています。これに加え、IoT や工場のスマート化による産業革新の進展が MBSE の重要性をますます高めており、インダストリー4.0を推し進めるドイツにおいても、フラウンホーファーIEM が開発した MBSE 手法 CONSENS の導入が OWL 地域をはじめドイツ全域で進みつつあります。

ISiD グループが開発した iQUAVIS は、自動車や精密機器など、ハードウェアと制御ソフトウェアが連携して性能や動作を実現する複雑なシステム製品の構想設計段階において、設計のすり合わせが必要な箇所を特定し、最適な設計手順を導くことができる日本初の構想設計支援システムです。自動車をはじめとする国内大手製造業約 100 社に採用され、特に近年は MBSE を支援するツールとしての活用が広がっています。

このたびの新会社設立は、欧州における CONSENS の展開加速を図るため準拠ツールの調達を計画していたフラウンホーファーIEM と、iQUAVIS のさらなる機能強化および世界市場投入を目論んでいた ISiD グループの事業戦略が合致し、合意に至ったものです。両者の合意に先立ち、フラウンホーファーIEM は欧州の主要な MBSE ツールを対象に厳格な評価を実施し、iQUAVIS を CONSENS と最も親和性の高いツールとして評価しました。

両者は今後、CONSENS と iQUAVIS を活用して欧州における MBSE 事業展開を図るとともに、CONSENS 準拠ツールとしての iQUAVIS 機能強化に共同で取り組み、MBSE 分野の標準技術基盤として幅広く浸透することを目指してまいります。また ISID グループは、新会社が蓄積する MBSE 事業ノウハウを、日本の製造業に向けたサービス強化にもつなげてまいります。

■新会社の概要■

新会社設立にあたっては、フラウンホーファーのスピノフプログラムに準じ、フラウンホーファー IEM から当該分野を牽引する研究者 2 名が出資者かつ経営メンバーとして参画し代表権を持ちます。また ISID から iQUAVIS 開発組織の長が経営メンバーとして参画し代表権を持ちます。

会社名 : Two Pillars GmbH
 設立 : 2018 年 6 月
 所在地 : ドイツ・パーダーボルン (フラウンホーファー IEM 内)
 代表者 : クリスチャン・チュアナー、クリスチャン・ブレマー、吉田篤
 事業内容 : iQUAVIS のアドオン機能開発およびマーケティング、ライセンス販売ならびに関連するコンサルティング、トレーニング、サポートサービスおよびその他の関連アクティビティ



新会社の活動拠点となる
 フラウンホーファー IEM のオフィス

© Fraunhofer IEM

■フラウンホーファー研究機構について■

フラウンホーファー研究機構は、ドイツ全土に 72 の研究所を擁する欧州最大の応用研究機関です。ドイツ教育研究省傘下の研究機関として 1949 年に設立され、2017 年現在で 25,000 名以上のスタッフ(大部分がエンジニア)が在籍しています。ドイツにおける公的研究機関の中で、もっとも実用化に近い応用研究を行っており、企業からの委託研究、企業への技術サービスの提供を行っている点が特徴となります。年間の研究予算は約 23 億ユーロ(内、20 億ユーロが委託研究業務)。収益の約 70%は企業や公的機関からの委託研究業務となります。<https://www.fraunhofer.de/>

■フラウンホーファー IEM について■

フラウンホーファー IEM はフラウンホーファー研究所の一つで、インダストリー 4.0 におけるメカトロニクスデザイン技術の専門研究機関として、機械工学、ソフトウェア工学、電気工学の分野で研究を行っています。フラウンホーファー IEM は、高度なシステムエンジニアリングにフォーカスし、製品・生産システム・サービス開発のための革新的な方法とツールの研究に取り組んでいます。フラウンホーファー IEM は、メカトロニクスシステム、システムエンジニアリング、バーチャルプロトタイピングにおける可視化する技術を強みとしています。<https://www.iem.fraunhofer.de/>

※MBSE: Model Based Systems Engineering の略。大規模で複雑なシステムや製品の開発において、機械工学、電子工学、情報工学など専門分野の異なるエンジニア同士が「モデル」を共通言語としてコミュニケーションをとりながら開発を進めていくための手法。近年の IoT の進展により、単体のシステムや製品の開発効率を高めるだけでなく、周辺システムとの連携を前提とするスマートコネクティッド製品を開発するための手法として認知が高まっている。

【事業に関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス 先端技術推進室 TEL: 03-6713-9980 E-Mail: g-iquavis-info@group.isid.co.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス コーポレートコミュニケーション室 李、服部 TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@isid.co.jp

関連プレスリリース

・ISiD、「iQUAVIS」のモデルベース開発(MBD)支援機能を大幅拡張 ～大規模チーム設計に対応、車両・エンジンなど大型製品開発へのMBD本格適用が可能に～ (2015年01月30日)

<https://www.isid.co.jp/news/release/2015/0130.html>

<電通国際情報サービス(ISiD) 会社概要>

社名 : 株式会社電通国際情報サービス(略称:ISiD)
代表者 : 代表取締役社長 釜井 節生
本社 : 東京都港区港南 2-17-1
U R L : <https://www.isid.co.jp/>
設立 : 1975年
資本金 : 81億8,050万円
連結従業員 : 2,716名(2017年12月末現在)
連結売上高 : 83,423百万円(2017年12月期)
事業内容 : ISiDは、社会や企業のデジタルトランスフォーメーションを、確かな技術力と創造力で支えるテクノロジー企業です。金融業務や製品開発の領域で創業以来培ってきた知見に加え、人事・会計など企業活動の根幹を支えるシステム構築の実績、電通グループのマーケティングノウハウ、そしてIoTやロボティクス、AIなど先端技術の社会実装に向けたオープンイノベーションへの取り組みにより、社会と企業の課題解決に貢献する、価値あるソリューションを生み出し続けています。

<株式会社アイティアイディコンサルティング 会社概要>

社名 : 株式会社アイティアイディコンサルティング
代表者 : 代表取締役社長 吉本 敦
本社 : 東京都港区港南 2-17-1
U R L : <http://www.itid.co.jp/>
設立 : 2001年
資本金 : 3億円
株主 : 株式会社電通国際情報サービス 100%
事業内容 : 現状分析による課題抽出、新事業計画の立案、技術ロードマップの構築、業務プロセスの効率化、モデルベース開発(MBSE: Model Based Systems Engineering)支援、モジュール化推進、人材の育成などの経営課題を抱えているモノ・コトづくり企業の皆様に対し、実務定着を強みとしたコンサルティングサービスを提供しています。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。